

主催 北海道民主医療機関連合会 共催 北海道高齢者向け住宅事業者協会

# 第3回住まいの交流会

11月15日（日）受付9:00 午前9:15～12:45終了予定

佐藤水産文化ホール札幌駅南口正面

午前中は公開講座なのでなたでも参加できます。会場の関係で定員120名になり次第締め切らせていただきます。（資料代500円）

## 記念講演『居住福祉』早川和男先生 をお迎えして

【来歴】奈良市出身。京都大学工学部建築学科卒業。西山卯三氏に師事。1973年「空間価値論」で日本都市計画学会賞受賞。京都大工学博士。建設省建築研究所建築経済研究室長などを経て、1978年神戸大学教授。1982日本住宅会議事務局長。1993年『居住福祉の論理』今和次郎受賞。1995年神戸大学を定年、名誉教授。長崎総合科学大学教授日本福祉大学客員教授。「住まいは人権」をかかげて住宅・土地問題に取り組む。日本居住福祉学会会長、国際居住福祉研究所長を歴任。2001年より「日中韓居住問題国際会議」を三国の研究者らと開催。「住居は人権」という理念のもと、「居住福祉」の概念を国際的に展開する「居住学」の第一人者。「九条科学者の会」呼びかけ人を務めている。著書に『住宅貧乏物語』『居住福祉』『居住福祉社会へ「老い」から住まいを考える』（岩波新書）



## 学習講演『緩和ケア認定看護師が語る、すまいでの看取り』— 室田ちひろさん

【来歴】北海道美唄市出身。勤医協札幌看護専門学校卒業。北海道医療大学 認定看護師研修センターにて 認定看護師教育専門課程「緩和ケア分野研修」修了。

1992年 社団法人北海道勤労者医療協会入職。勤医協札幌丘珠病院師長を経て、2003年より訪問看護ステーション勤務を契機に本格的に在宅介護分野へ。2007年4月の勤医協在宅の法人設立時に中心的役割を担い、柏ヶ丘センター長を兼務し、訪問看護師として多くの看取りの場面に接する。終末期を在宅で過ごす高齢者が増えていく中で、利用者やご家族に寄りそう看護の重要性を考え、法人の要請により、2011年緩和ケア認定看護師資格取得を目指し、「緩和ケア認定看護師」となる。

現在は、社会福祉法人 札幌東勤労者医療福祉協会訪問看護部門統括責任者、勤医協しのろ在宅総合センター副センター長を兼務しながら、訪問看護サービスの質の向上を図る立場で実践を続けている。

他方、勤医協反核平和自転車リレーの中心メンバー（あかるいちゃりだーの会：毎年8月開催）として運営に参加。15回目の今年は、「戦争法案反対！憲法まもれ！」をアピールしながら黒松内町から札幌市までの200キロを駆け抜けた。

■日程 11月15日（日）9:00会場 開始9:15～12:45（終了予定）

■会場 佐藤水産文化ホール（中央区北4西3光洋ビル3F ＊札幌駅南口真向）

■参加費 500円（資料代）

■連絡先 北海道民主医療機関連合会 011-758-4596 担当 佐藤 実千子